

もっとボートレースを PROPEL

特集

進化するボートレース場

レースをより楽しんでいただくために
～ボートレース芦屋の取り組み～

誰もが気軽に立ち寄れるアミューズメントパークへ
～ボートレース江戸川の取り組み～

まだまだある！
来場を促進するユニークなイベントやサービス

行ったら絶対食べたい！
全国24場の一押しグルメ

02 特集
進化する
ボートレース場

04 レースをより楽しんでいただくために
～ボートレース芦屋の取り組み～

06 誰もが気軽に立ち寄れる
アミューズメントパークへ
～ボートレース江戸川の取り組み～

08 まだまだある！
来場を促進するユニークな
イベントやサービス

09 行ったら絶対食べたい！
全国24場の一押しグルメ

10 HOPE!
無限の可能性を秘めた
スター候補

14 ボートレースを支える
プロフェッショナル

進化する 特集 ボートレース場

近年、ボートレース場は大きな変貌を遂げています。利便性を向上させる施設の導入や、カップルや女性同士、ファミリーなどが安心して足を運べる、クリーンでおしゃれな場内スペースも次々と誕生しています。変化はそれだけではありません。レース自体を楽しんでいただく工夫はもちろん、レース以外でも誰もが楽しめるイベントやサービスを次々に実施。アミューズメントパークとしての機能も強化しているのです。ご来場いただいたすべてのお客さまがそれぞれの楽しみ方で1日を快適に過ごしていただけるように——、ボートレース場はこれからも進化を続けていきます。

全国24カ所の
ボートレース場にいる
ボクのお友達だよ！



TV-CMキャラクター
ていちゃん

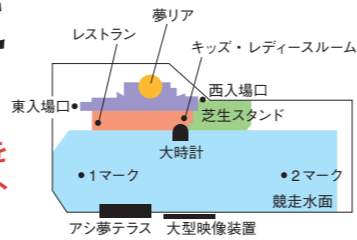


【プロペル】
PROpel

ボートレース広報誌「PROpel」は、みんなに楽しんでいただけるボートレースの実現に向けた関係者の姿と、社会の様々な分野での貢献の様子を紹介していきます。

レースをより楽しんでいただくために ～ボートレース芦屋の取り組み～

公営競技の中で最も早い第1レースの実施や外向発売所に対岸からレースを観戦できるテラスを設置するなど、前例のないレースの楽しみ方を提供しているボートレース芦屋。目の肥えたボートレースファンの方々にとっても新鮮味がある画期的なアイデアを次々と実現しています。



①ボートレース芦屋の全景。後ろにそびえ立つのが展望ラウンジ ②スタンドと夢リアを結ぶプラザ。吹き抜けで開放感ある明るい空間 ③④多目的ホール夢リア。約700名を収容可能で、ステージ奥には430インチの大型映像装置を設置。レースの観戦ができるほか、講演会やキャラクターショーなど各種イベントにも開放されている ⑤展望ラウンジからの眺め。眼下にはボートレース場と緑の大地が広がる ⑥遠くからでもわかるように国道沿いの入り口に巨大サインを設置

モーニングレースの実現によって 付加価値のある1日を提供したい

福岡県遠賀郡にあるボートレース芦屋で、今年7月、一つのユニークな試みが導入されました。第1レースの時刻を従来より約1時間40分早め、朝の9時半にスタートするモーニングレース「サンライズレース」の実施です。「朝からレースを行えば午後3時には全レースが終了しますので、その頃から他場で始まるナイターレースを初めから続けて楽しんでいただけるのではないかなと思ったのがきっかけです」と芦屋町競艇事業局長の仲山武義さんは語ります。

しかし、前例のない試みだからこそ、話題性や魅力がなければレース場へは足を運んでもらえません。そこで、従来から実施していたモーニング「V(ブイ)戦^{※1}」に加え、「W(ダブル)戦^{※2}」「X(クロス)戦^{※3}」など、個性的な番組編成を1レースから4レースに採用しました。

あえて6艇にA級、B級選手を組み合わせた理由について仲山局長は、「実力差のあるメンバーが出場するレースでは、本命を絞るやすい一方で大当たり化ける可能性も秘めています。実際に高配当のレースも出ていて狙い通りといえます」と自信を見せます。

「サンライズレース」の実現にあたっては、レーサーの練習時間の確保や職員の勤務時間など、各方面との調整に苦心したそうですが、実施後は全国から大きな反響があり、「手探りの状態でしたが実施してよかったと思います。ご来場いただいたお客さまにも、多くのレースを楽しめるようになったと好評です」と、仲山局長も手応えを感じています。ボートレース芦屋では、「サンライズレース」の早朝に限って指定席が半額で利用できるなど、来場促進にも力を入れています。

ボートレース芦屋では好評につき、当初の予定より期間を延長して10月以降も「サンライズレース」を継続実施します。

- ※1 V(ブイ)戦：1号艇にA級選手、2～6号艇にB級選手
- ※2 W(ダブル)戦：1、4号艇にA級選手、2、3、5、6号艇にB級選手
- ※3 X(クロス)戦：1、3、5号艇にA級選手、2、4、6号艇にB級選手

サンライズレース概要

2010年度実施期間：2010年7月9日～2011年3月27日
全27節、開催総日数132日
※GⅠ、GⅡレースを除く。

進行時間	第1レース	スタート展示	9:05(従来10:45)
		発売開始	9:10(従来10:50)
		発売締切	9:25(従来11:03)
	第12レース	スタート展示	14:16(従来16:05)
		発売開始	14:21(従来16:10)
		発売締切	14:42(従来16:30)

対岸から間近に観戦できる 外向発売所「アシ夢テラス」をオープン

5年前に全面改装したボートレース芦屋は、施設面でも様々なスタイルでレースの魅力味わえる工夫がなされています。指定席の1マーク前のレストランでは食事をしながらレース観戦ができるほか、キッズ・レディースルームも水面の間近に設置。疾走するボートの迫力を室内にしながら体感できます。また、2マークの前には傾斜のある芝生スタンドがあり、天気の良い日にはピクニック気分でもレースを観ることができます。

このように多様な方法でレースを堪能できるボートレース芦屋に今年新たに加わったのが、対岸の場外からレースを観戦できる「アシ夢テラス」です。仲山局長によると、「もともと対岸に外向発売所があったことから、お客さまがよく生け垣の間からレースを観戦されていました。それならいっそう屋外テラスとして開放してはどうか考えたのです。実際にオープンしてみると、その賑わいに驚いています」とのこと。駐車場も近く、他では見られない位置から迫力満点のレースを楽しめるとして人気の「アシ夢テラス」。仲山局長は、「1日や半日かけてじっくり楽しみたい方は場内で、用事の合間に少しだけ楽しみたい方は『アシ夢テラス』と、観戦スタイルにより使い分けていただけたら」と考えているそうです。

芝生スタンド/お子さまと一緒に寝転がりながらレースを観るお客さまも多い



アシ夢テラス/ボートレース場とは反対方向からボートレースを観戦できる。1マークの攻防が目の前で繰り広げられる
キッズ・レディースルーム/絵本やアニメを放映する映像コーナーなどがあり、小さなお子さまも退屈しない。キッズルームは各場に設置されており、ご家族連れに好評(設備はボートレース場によって異なります)

お客さまからの意見と回答を公開

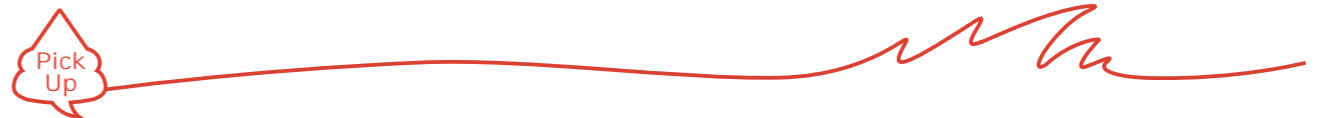
ボートレース芦屋では、より楽しいレース観戦を実現するために多くの人々の意見を聞く必要があると考え、いくつかの試みを実施しました。「アシ夢委員会」で行われた議論もその一つです。「アシ夢委員会」は、ボートレーサーやレース場の従業員をはじめ、お客さま、タクシー運転手、マスコミの記者など17名で構成された委員会で、お客さまへのサービス向上などについて幅広い視点からアイデアをご提案いただき、一部の委員にはモーニングレースのネーミング選定(サンライズレース)も行っていました。

また、来場したお客さまの声にも積極的に耳を傾けており、寄せられた意見とその回答はすべてホームページで公開しています。仲山局長は、「もちろん肯定的な意見ばかりではなく、お叱りを頂戴することも少なくありません。しかし、そうしたお言葉をすべて拝見している姿勢を皆さまに知っていただくことが最も大切です」と力を込めます。場内の数カ所に設置されている「ご意見箱」のそばには、ホームページと同様にお客さまのやりとりが掲示されていて、これらのご意見の中に実現可能な案があれば、即座に実行するそうです。

「サンライズレースやアシ夢テラスなどの取り組みも、すぐには効果が出ないかもしれませんが、しかしそれもご意見箱と同じで、取り組む姿勢が大切です。私たちが地道な活動を続けることで、より多くのお客さまに足を運んでいただけるようになれば」と語る仲山局長の表情は希望に満ちていました。



場内に設置されている「ご意見箱」 ホームページにある「お客様の声」



「ドリームビット」(左)の正面左手に設置されたドライブスルー(右)



キャッシュレス投票窓口(左)と「オリジンカード」(右)

様々なニーズにお応えし、舟券購入の利便性を向上 ボートレースからつ、ボートレース大村

各地のボートレース場では舟券購入の利便性向上を目指して、様々な試みが行われています。

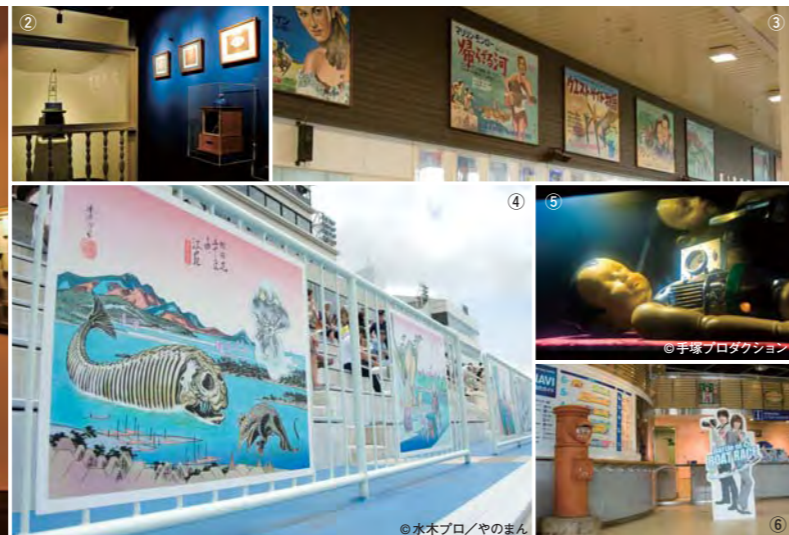
ボートレースからつでは今年4月、ドライブスルーを併設した外向発売所「ドリームビット」をオープン。通勤途中のお客さまなどから気軽に立ち寄れると好評です。現在は発売のみですが、払い戻しへの対応も検討中で、さらに利便性を高めていく予定です。

一方、ボートレース大村では2009年12月より、窓口キャッシュレスサービスを実施。入会時に発行される「オリジンカード」により、投票や払い戻し金の受け取りができます。また、カードで舟券を購入するとポイントがたまり、現金のほか様々な商品と交換することが可能。現在の会員数は約2,400名と、順調にその数を伸ばしています。

誰もが気軽に立ち寄れるアミューズメントパークへ ~ボートレース江戸川の取り組み~

アートミュージアム、屋形船クルージング、映画ポスターの展示など、ユニークな企画を展開しているボートレース江戸川。一見、レースとは関連がなさそうですが、それには新規ファン獲得のためという明確な狙いがあるのです。これらのイベントや施設が誕生した経緯や考え方を紹介します。

初めてご来場されるお客さまにもボートレース場の場所がわかりやすいように巨大看板を設置。ポーターと看板を取り付けている作業員は浮き出て見えるトリックアートになっている



①カリスマ左官職人・扶土(はさど)秀平氏がボートレース江戸川のために制作した24枚の土壁アートが並ぶ。繊細で優しい土壁の肌はやすらぎを感じさせてくれる ②カラクリ・ミニシアターなどによる幻想的な世界が広がるコンテンツラリー・エリア ③日本最後の看板絵師と呼ばれる久保板親氏が手がけたレトロな映画看板 ④観戦スタンドに展示されている「妖怪道五十三次」のプレート。鬼太郎やねずみ男など「ゲゲゲの鬼太郎」の登場人物が東海道を旅する姿が描かれている。ボートレース江戸川の施行者の1つである調布市に水木しげる氏が住んでいることが縁で企画が実現 ⑤造形作家・荒木博志氏による等身大のアトム。今にも動き出しそうなりアルさ ⑥エントランスから昭和レトロを感じさせるつくり

女性参加者が多いアートツアー

まるで本物のような鉄腕アトムの模型、幻想的な機械仕掛けのカラクリ・ミニシアター、そして数々の彫刻や絵画などのアート作品。さながら現代美術館を思わせる光景ですが、これらの作品が展示されているのは、実は東京都にあるボートレース江戸川です。

江戸川アートツアー

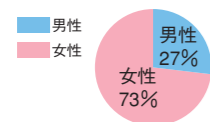
参加料金 1,000円
(入場料&お食事代含む)
完全予約制

定員 各日10名
時間 11:00スタート 所要時間約2時間
(場間場外ナイター発売日は15:00スタート)
ツアー後は特別観覧席にて最終レースまで観戦可能

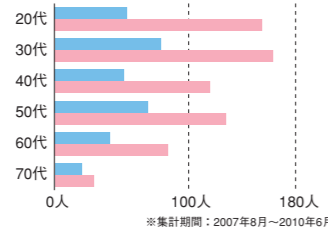


巨大鉄腕アトムの背景画も見所の一つ

アートツアーの参加者



アートツアー参加者は20代、30代の若い女性が多い。これまでボートレース場にあまり足を運ぶことのなかった客層の来場誘致に成功している



「女性ガイドと一緒に、2時間ほどかけて場内のアート作品をめぐる『江戸川アートツアー』は、有料ながら1カ月先まで予約が入っています。参加される方の多くは若い女性です」と語るのは、ボートレース江戸川の施設を所有・管理する関東興業(株)総務部総務課長の土屋泰伸さん。ツアーの参加者は、初めてレース場に来たという方がほとんど。場内にあるアートミュージアムやアートギャラリーをはじめ、各所に展示されているゲゲゲの鬼太郎のパネルやレトロな映画ポスターなどを鑑賞後には、レストランでランチを楽しんでいただくツアー内容ですが、最後にご案内するボートレース観戦も参加者には好評です。

「アートツアーをきっかけとしてまずは来場していただき、ボートレースの雰囲気を間近に感じ、少しでも関心を持っていただきたいと考えています。舟券の購入は任意ですが、皆さん興味を持たれ、ほぼ全員が投票に参加しています」と土屋さん。アートツアーを始めてから3年が経ちますが、参加者の累計は約1,000人。これほど多くの方々に参加してもらえとは予想できなかったそうです。

屋形船に乗ってボートレースを観戦

大人気のアートツアーと並んで注目を集めているのが、今年7月より開始した「大江戸舟遊び ボートレース観戦と屋形船」

ツアーです。近くの乗船場から屋形船に乗ってレース場まで行き、水上で本格的な食事やお酒を楽しみながら、すぐ目の前で繰り広げられるボートレースを観戦するという企画。ボートレース江戸川は全国24場で唯一、東京湾に注ぐ河川の水面をそのまま利用しており、この立地条件を十分に活かしたイベントです。

土屋さんによると、この屋形船イベントも新規来場者の開拓が目的だそうです。「このツアーにはボートレースをご存じない方を中心に参加していただきたいと思っています。そのため、料金も通常の屋形船クルージングと比べてかなり低く抑えていますし、告知も場内では行わずに駅前の旅行代理店などで実施しているのみです。それでも予約は3カ月先まで埋まっています」と笑顔で話します。参加されたお客さまも大変満足されて、また参加したいとの声も多く寄せられているとのこと。

大江戸舟遊び ボートレース観戦と屋形船 (9月4日、20日の実施概要)

募集人員 40名
料金 大人4,980円 小人2,500円

屋形船内に四季彩弁当と天ぷら(飲み放題含む)、ボートレース江戸川VIPルームからのレース観戦、レース場内お食事券2,000円、ポストカード等のプレゼント付



まずは来場していただくことが第一歩

ボートレース江戸川で独創的なアイデアが次々と具現化する背景には、施設会社と施行者との良好な関係があります。施行者である東京都六市競艇事業組合事業課主任の金井武将さんは、「施設の規模がコンパクトなこともあり、ちょっとしたアイデア

アでも形にしやすい環境だと思います。関東興業さんとは頻繁に話し合いをしています。私たち施行者側から施設やイベントについてアイデアを出すことも多々あります」とのこと。ただし、新規来場者の誘致に絞った取り組みは、検討段階では内部でも賛否両論があったそうです。「確かに、新規のお客さまがすべて常連さんになる保証はなく、否定的な意見もありました。しかし常連のお客さまを新たに増やすためには、まずボートレースに関心のない人々に少しでも多く来場していただくことが第一歩なのです」と土屋さんは語ります。

さらに、「リピーター」を増やすための方法としてボートレース江戸川の土地柄がヒントになると考え、いろいろな取り組みを行っているそうです。「このあたりは下町特有の文化が根づいていて、アットホームな、人間的なつきあいがなければうまくやっつけられません。そうした温かい人間関係をベースにして、常連さんはもちろん新規のお客さまをお迎えしたい」と土屋さん。夏場には水面近くに屋台がいくつも並びますが、レース場の職員が店舗に入って調理や販売をすることもあるため、町中で顔見知りのお客さまから声をかけられることもあるそうです。

今後について、「現在は単発で行っている各イベントを連動させていきたいですね。1度目、2度目と、来場していただく機会を増やしながら、地道にお客さまとの関係を深めていけたら」と土屋さんは将来を見つめます。



カップルやファミリーに人気の屋台(左)。屋台を目当てに来場するお客さまもいらっしゃるほど(上)



新規顧客の獲得を目指し、お笑いライブを開催 ボートレース平和島



これまでにアジアン、ジャルジャル、パンクブーブー、はんにゃ、フルーツポンチなど、人気芸人が多数出演

多くのボートレース場が「お笑いライブ」を実施する中、ボートレース平和島では、昨年4月から吉本興業とのコラボレーションによる「平和島 de よしもと」を開催。女性やカップルなど、新規顧客の誘致に成果をあげています。「必ずボートレースネタを入れてもらい、新規顧客のボートレースへの興味を喚起すると同時に、既存のお客さまにもライブを楽しんでいただけるようにしています。『好きな芸人さんが予想した舟券を買ったら当たった。ハマりそう』などの声も聞かれます」(府中市事業部庶務課企画係・谷口大和さん)。一方で、新規来場者増加と舟券購入が必ずしも結びついていないことが課題だそうで、「芸人さんによる予想大会やロイヤルルームでのライブなどで、舟券購入を推進しています」とのこと。「イベントやサービスを充実させ、ファミリー層にも既存のお客さまにも満足していただけるボートレース場にしていきたいですね」。

●「平和島 de よしもと」開催日(2010年度)：レース開催(場外開催含む)のある土曜日と月1回程度の日曜日・祝日

まだまだある！ 来場を促進するユニークなイベントやサービス

これまでご紹介した事例以外にも、ボートレース場では様々なイベントやサービスでお客さまをお迎えしています。



レースの迫力を体感 ペアボート&ゴムボート試乗会 ボートレース鳴門



ペアボートの希望者は20~30代の若年層が中心。リピーターも増えている。ゴムボートは子どもに大人気！

レースで使用するモーターを付けた2人乗りのボートに乗艇し、現役ボートレーサーの操縦で水面を疾走するペアボート。ボートレーサーと間近に触れ合えるとともに、レースさながらのスピード感が味わえると大好評です。また、小学生以下のお子さまには安心して楽しめるゴムボートも用意しています。ペアボート、ゴムボートの試乗会は各レース場で随時実施していますが、ここではボートレース鳴門の実施例をご紹介します。

- ボートレース鳴門 鳴門市企業局競艇企画管理課宣伝・企画担当主事 岡田紘幸さん
8月7日、ファン感謝祭のプログラムの一つとしてペアボートとゴムボートの試乗会を行いました。この日来場したお客さまは総勢800名で、そのうち30名(抽選)がペアボートを、50名(先着順)がゴムボートを楽しめました。参加者からは「ジェットコースターよりおもしろい！」と興奮した声が聞かれました。ペアボートは最近急激に人気が高まっていて、抽選倍率が4倍になることもあります。今後は実施回数を増やして、できるだけ多くの方に楽しんでいただけるようにしたいと考えています。

地域と連携しながら プラスαの楽しさを提供 ボートレースとこなめ



講師の丁寧な指導が受けられるので、初めての人でも安心

各レース場ではレース以外にもお客さまに楽しんでいただけるような様々なイベントを実施しています。ボートレースとこなめでは地元の名産「常滑焼」を生かした「陶芸教室」を開催しています。

- ボートレースとこなめ 常滑市競艇事業部事業課主任主査 山崎成信さん
陶芸教室は、「焼き物のまち」にふさわしい文化活動の場を提供することにより、ボートレース場に親近感を持っていただくよう1980年から始めました。講師は地元のシルバー人材センターから派遣していただいています。参加者はカップルやファミリーが多く、女性が約6割を占め、リピーターも多数いらっしゃいます。ファンサービスの一環ですから料金はリーズナブルに設定しており、家族全員で楽しめることと喜ばれています。

開催日 場外発売を除くレース開催日の土曜・日曜・祝日
時間 10:00~16:00
受付 10:00から随時受付
料金 茶碗、皿、徳利などへの絵付け:550~900円 手造り(粘土1個):600円

ボートレース初心者の強い味方 インフォメーション ボートレース浜名湖



各レース場では初心者のためにインフォメーションを設置。ルールや舟券の買い方、出走表の見方などの疑問にお答えしています。中でも戸田、浜名湖、住之江、尼崎などでは場内の無料ツアーを実施。クルーがお客さまと一緒に観戦しながらボートレースの楽しみ方を伝えています。

- ボートレース浜名湖 ハマナ娘クルー 星川佳代さん(左)・松浦恵さん(右)
浜名湖では2007年からツアーを始めています。スタッフは現在16名。レースの開催日は毎日行っていて、1名様からお申し込みいただけます。ご案内する上で心がけていることは、専門用語を使わないということ。どなたにも分かるような言葉で説明をしています。お客さまと一緒に予想をした舟券が当たると本当に嬉しいです。ボートレースはやはり近くで観るのが一番！ 迫力が違います。また非常に奥深く、知れば知るほど面白くなる競技です。私たちがボートレースの魅力と精一杯お伝えいたしますので、ぜひ足を運んでください。

行ったら絶対食べたい！ 全国24場の一押しグルメ

ボートレース場でのもう一つの楽しみは、やはりおいしい食事。地元の食材を使ったメニューからB級グルメまで、各レース場の自慢の逸品をご紹介します。

<p>BOAT RACE 福生 ビーフシチュー 1,250円 ダイニング雷神 じっくり煮込んだビーフシチュー。見晴らしの良いレストランでご賞味ください。</p>	<p>BOAT RACE 戸田 カレーライス 500円 レストランワールドII 完熟玉ねぎを丁寧に炒めた豊かな風味！人気女性大食いタレントが30杯たいたらげた伝説の逸品。</p>	<p>BOAT RACE 江戸川 豚もつ煮込み定食 750円 レストラン 笑和 ボートレース江戸川の売上、人気No.1。もつ煮はテイクアウトもでき、近隣より、わざわざ買いにいらっしやるお客さまも多いほどです。</p>	<p>BOAT RACE 幸和島 チルト3井 600円(阿波選手が出場する時は500円) あじまん チルト3度を駆使する地元の阿波選手にあやかり誕生。ぶ厚いチャーシューのカツにソースたっぷり、キャベツの千切りがグッドマッチ！</p>	<p>BOAT RACE 多摩川 牛炊(ぎゅうすい) 700円 レストラン ウェイキー ボートレース多摩川だけのオリジナルメニュー。牛肉と野菜で5時間煮込んだスープは絶品。</p>
<p>BOAT RACE 浜名湖 海老フライ&串かつ 各100円 南入場門付近の屋台 揚げたての海老フライ&串かつ。ソースをたっぷりつけて食べれば大満足、間違いなし。</p>	<p>BOAT RACE 蒲郡 串かつ 100円 食事処 あづま 1本100円と安く、レースを観戦しながら気軽に食べられます！</p>	<p>BOAT RACE 二子 どて井 400円 福祉の店1号店 八丁味噌でやわらかく煮込んだどてをたっぷりのせた逸品。</p>	<p>BOAT RACE 津 ラーメン 500円 めん処まるいち 伊勢うどんやいわし寿司など「何を食べてもおいしい！」と評判の本場であって、常連さんの一番人気は昔ながらの中華そば。</p>	<p>BOAT RACE 三田 おろし蕎麦 650円 ドリーム だしに辛味大根のおろし汁を加え鰹節とねぎをトッピング。大根の辛味が好評で、辛味大根がとれる11月から旬。</p>
<p>BOAT RACE びわこ ホルモンうどん 600円 ボートママ/ボートパパ フク(牛の肺)を甘辛く煮込んだホルモンとこだわりのダシ・麺とのコラボレーションを実現した20年来の定番メニュー。</p>	<p>BOAT RACE 住之江 焼きそば 300円 (大盛 350円) ダイフク 麺には特製品を使用！</p>	<p>BOAT RACE 尼崎 多幸焼 6個100円 1階売店 タコの代わりに入っているのはこんにゃく、エビ、玉子。ダシの旨いふわふわの食感が大人気。</p>	<p>BOAT RACE 鳴門 鳴門うどん 350円 喜久屋食堂 夏バテ気味や二日酔いの時も「ちゅるっ」といけばちゅる系の子のイケ麺。</p>	<p>BOAT RACE まわがめ たこ天 200円 食堂まるがめ リーズナブルな値段でおいしい！ボートレースまるがめのNo.1グルメ。</p>
<p>BOAT RACE 尾島 タコめしうどんセット 550円 (タコめし単品は300円) ナデシコ 地元のタコを使った尾島名物「タコめし」をセットで！</p>	<p>BOAT RACE 宮島 万舟ソース勝井 500円 福ちゃん 濃厚でしっかりとしたソース味は、万舟券を的中した時のような衝撃！</p>	<p>BOAT RACE 徳山 刺身定食 950円 西スタンド3階レストラン 瀬戸内海に面したボートレース徳山ならではの新鮮な魚と数種類の小鉢付き。</p>	<p>BOAT RACE 下関 くじらバーガー 280円 マリナカフェ ふぐと並んで下関名物のくじら肉を使った大人気ハンバーガー。</p>	<p>BOAT RACE 若松 ホルモン串 110円 焼き鳥ひびき 1日1,000本以上売れる、ボートレース若松でしか味わうことのできない人気の品。</p>
<p>BOAT RACE 芦屋 皿うどん 650円 レストラン まんぼう まんぼうの一番人気。具たくさんでボリューム満点、そのうえリーズナブル。</p>	<p>BOAT RACE 福岡 博多もやしラーメン 460円 東スタンド2階食堂 豚骨と鶏ガラを独自の割合で調合し、強火で長時間かけてとったスープと麺とがたまらない逸品。</p>	<p>BOAT RACE からつ 和定食 600円 1階/3階食堂 唐津名物「川島豆腐のざる豆腐」付き！</p>	<p>BOAT RACE 大村 佐世保バーガー(スペシャルバーガー) 530円 スタミナ本舗 Kaya 全国でもおなじみの佐世保バーガー。ここでも行列ができるほど。</p>	<p>どれもおいしそう。遊びにきてね！</p>

第5回 HOPE! 無限の可能性を秘めた スター候補★

今回の対談は、新田選手の地元・ボートレース津の象徴ともいえるツッキードームで行いました。銀色に輝く球体がツッキードームです。



今まで通りに、自然体で トップを目指し続ける

デビューからわずか4年でGIタイトルを獲得するなど、その非凡な才能に注目が集まっている新田選手。最近ではSGの舞台でも優勝戦出場を果たし、着実にスター選手への階段を上っています。今回は、植木通彦氏との対談を通じて、新田選手のレースに対する意気込みや、ボートレーサーとしての心構えなどを語っていただきました。

スター候補選手 登録第4344号(三重)

新田雄史 選手
Yushi Nitta

植木通彦氏
Michihiko Ueki

結果だけを求めていた 訓練生時代

植木 ここボートレース津は、新田選手が小学生の頃から馴染みのある場所だそうですね。

新田 私が生まれ育ったのは、三重県松阪市の郊外にある、自然に囲まれた小さな町です。毎日のように山や川で走り回るような、やんちゃな子どもでした。このボートレース場には、父親がファンだったのでしばしば連れられて来ていました。

植木 エンジン音を響かせながらすぐ目の前をモーターボートが疾走する様子は、小学生の男の子には格好良く見えたのではないですか。実際にボートレーサーになることを意識し始めたのはいつ頃からですか。

新田 明確に目標として考えたのは中学校に入った頃からです。やまと学校への入学試験を通過するためにはいろいろな準備が必要だとわかり、勉強も手を抜かずにはやるようになりました。その甲斐あって、2度目の受験で合格できました。訓練生活の厳しさは十分覚悟していましたので、想像以上とは思いませんでした。植木さんの訓練生時代は、どのようなものだったのですか。

植木 成績は必ずしも良いとはいえませんが、それよりも学校ではボートレーサーとしての基礎を身につけられたことが大きかったと思います。1年を通じて時間厳守の生活を徹底して教え込まれますが、それはプロデビューした後のことを考えてのこと。それができないまま卒業してしまうと、分刻みのスケジュールに追われてしまい、安全で円滑なレースの進行に支障が出てしまいます。

新田 私の場合は、訓練生の頃はとにかく成績がすべてだと思込んでいました。結果にこだわったことで卒業記念レースに優勝できましたが、今になって振り返ると植木さんのおっしゃるように訓練生活のプロセスから得られた経験のほうが大切だったと感じています。

思うようにいかなくても レースを楽しむ

植木 卒業後の2005年に選手登録され、5月の浜名湖でプロデビューした新田選手ですが、デビュー戦には苦い思い出があるそうですね。

新田 初戦にかける強い思いがあって、絶対に1着になると燃えていました。6コースから全力でまわっていきましたが、さすがに先輩方も譲らず、はじかれ気味になって転覆してしまったのです。実は、朝の試運転でも1度転覆していて、周囲から「こ



やまと学校時代の新田選手(右)

新田選手の 生い立ち、プロレーサーになるまで

幼少時から自然に囲まれた環境で育ち、将来は宇宙飛行士になることが夢だった。小学校ではソフトボール、中学校・高校ではソフトテニスをしていましたが、特に目立った成績は残せなかったという。

ボートレースに初めて接したのは小学生の頃。ボートレースファンだった父親に連れられてボートレース津に行き、1マークの前でレースの迫力を目の当たりにして感激。その父の勧めもあって、中学生の時にボートレーサーになることを決意する。

やまと学校へは2度目の受験で合格。厳しい訓練生活の中で頭角を現し、在校中の優秀な成績は周囲に高く評価された。卒業記念レースでも見事に優勝し、「やまとチャンプ」に輝く。卒業後の2005年3月に選手登録され、同年5月にデビューを果たした。

れて落ち着いたな」と言われた後だったので余計に落ち込みました(笑)。

植木 ただ、新田選手のケースに限らず、新人にいくら「落ち着け」と言ってもそれは無理というもの。ただその後は初1着、初優勝と着実にステップアップし、2009年には4年目にしてGI初優勝を果たしましたね。

新田 あの時は、たまたま得点トップで1号艇に乗って勝つことができましたが、まさか自分がGIで優勝できるとは思っていませんでした。本当は嬉しかったです。

植木 普段からの努力が実った結果だとは思いますが、レースに臨む時にどんなことを心がけていますか。

新田 できるだけレースを楽しむようにしています。もちろん思うようにならないことも多く、楽しめない時もあります。しかしボートレーサーとしての長い人生を考えた場合、たとえ6着でもその経験は成長につながると思っています。目先の結果に振り回されず、時には自分の駄目だった部分を認めること、それが大切ではないかと感じています。

植木 そここまで考えられる若い選手はなかなかいないと思います。先ほどの訓練生時代の話にも通じますが、日々の経験を新田選手は前向きに捉えていることが良い成績につながっているのだと思います。

僅差の負けから学んだこと

植木 ところで新田選手といえば、今年1月、ボートレース浜名湖で行われた新鋭王座決定戦における、優勝戦での激闘が話題になりましたね。最後は僅差の2着に終わりましたが、毒島誠選手との手に汗握る攻防戦は見応えがありました。

新田 優勝に向けて気持ちが入っていて、2周目で先頭に出ることができたので、「これは勝った!」と勝利を確信しました。しかし直後のターンで大きなミスをして逆転されてしまい、必死に追いつけたのですが2着でした。先頭に立った瞬間に、精神的に守りに入ってしまったことが敗因だったと思います。本当に悔しみの残るレースでした。

植木 しかしファンにとっては、また新田選手を応援しようと思える内容のレースだったのではないのでしょうか。結果は残念でしたが、毒島選手と最後まで競り合って歴史に残るレースができた、そのことは素晴らしいと思います。



新田選手の プロレーサーとしての活躍

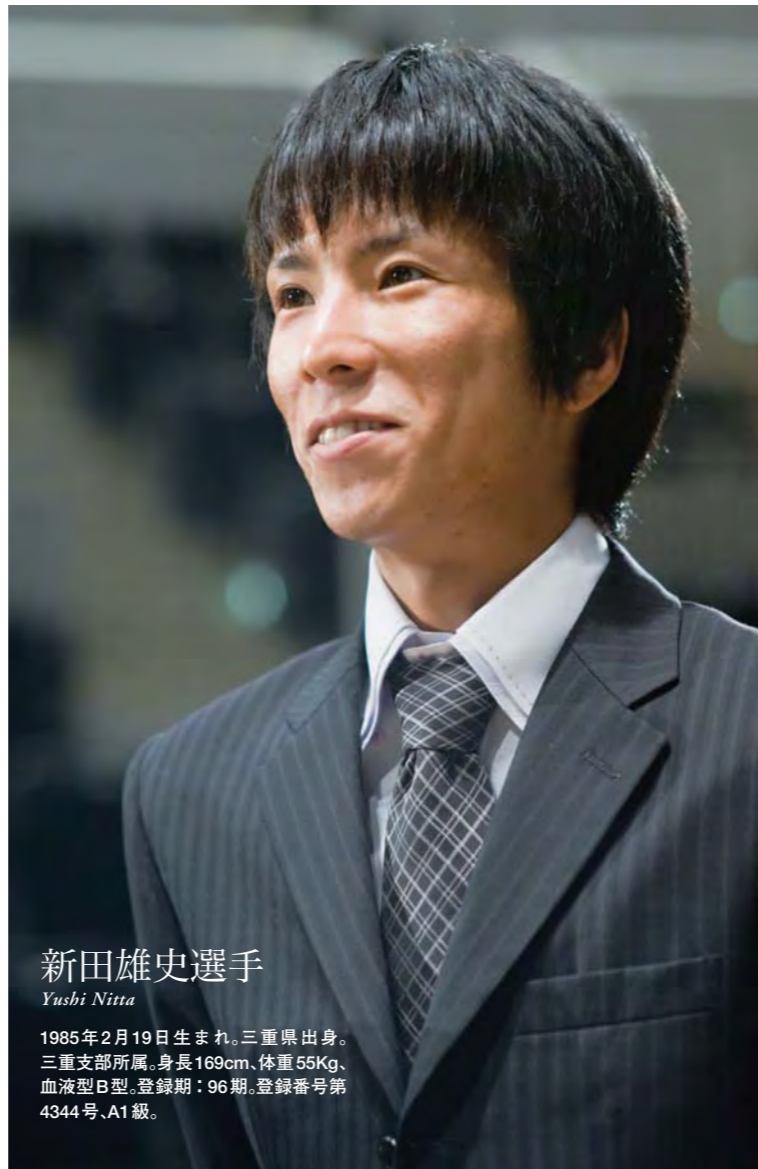
2005年5月のデビュー戦は転覆で終わったが、翌月に行われた地元・ボートレース津での一般競走で初1着を獲得。2006年5月には初めて優勝戦に出場し、2007年9月の浜名湖新鋭リーグで念願の初優勝。当日は朝から緊張が解けず、試運転もせずにレースに臨んだという逸話がある。2009年10月の琵琶湖周年記念でGI初優勝。2010年9月14日現在の通算成績は勝率6.60、優出37回、優勝5回。GI競走には222回出走し、SG競走には41回出走。

新田 自分のことを客観的に見て痛感しているのは、ここの一番での勝負弱さです。植木さんの現役時代は本当に強かったという印象がありますが、例えばSGで勝つためには何が必要なのでしょう。

植木 私が一番努力したのは「準備」です。ボートレース場では、常にボートレーサーは不安や緊張と戦っています。その感覚を払拭して自分の力を出し切るためには、プロベラ調整や体調管理など、レース場に入る前に誰よりも努力して万全の準備をすることが大事です。もし結果が出なくても、きちんと準備したうえでのことなら自分の責任として受け入れられます。

新田 私も負ける時は、自分に何か足りなかったから負けたのだと考えています。どんな結果でもそれを受け入れて次につなげるようにしていますが、植木さんのお話をうかがっていると、自分にはまだ準備が足りないと感じます。

植木 最初は新田選手なりのやり方で続ければ良いと思います。SGに何回出場したかという数字よりも、その目標に向かってどうやって取り組んでいるか、その姿勢に意味があります。生活をすべて犠牲にして仕事に投げれば結果が出せるというも



新田雄史選手

Yushi Nitta

1985年2月19日生まれ。三重県出身。三重支部所属。身長169cm、体重55Kg、血液型B型。登録期：96期。登録番号第4344号、A1級。

のではありません。オンとオフのメリハリをつけるなどして、その過程を楽しむことがヒントになると思います。

自分を過大評価せず、 等身大のレースを

植木 最近は若手のボートレーサーの活躍がとても目立っていますね。現在プロ6年目の新田選手がライバルと感じているボートレーサーは誰でしょうか。

新田 同じ三重支部に所属している先輩ボートレーサーの安達裕樹選手です。非常に攻撃的なスタイルで、勝負所で怖がらずに仕掛けていけるところなど、自分にない点が多くお手本になっています。また、篠崎元志選手や平本真之選手をはじめとする、同期のボートレーサーたちの活躍も大きな刺激になっています。将来的に、今の新鋭世代で賞金王を争うような時代が来ると思いますので、その流れにしっかりと入り込んでいきたいですね。

植木 地区スター候補選手から新たに全国スター候補選手になった新田選手には、周囲の期待もますます高まっていくでしょうね。

新田 確かに私もそう感じますが、スター候補選手になったからといって急に何かを変えるということは考えていません。今まで通り自分を過大評価することなく、等身大のまま走り続けることが良い結果につながると思います。

植木 自然体でいながら成長できるのは理想的ですね。落ち着いた人柄の中に自分への厳しさも持ち合わせている新田選手は、SGのステージでもぎっと活躍できると思います。

新田 整備力やボートの調整など、課題に感じていることはたくさんあります。応援いただいているお客さまの期待に応えるために、今後もしっかりと走りたいと思います。

新田選手との対談を終えて……植木通彦



現役時代に一緒に走っていた選手かと錯覚するほど、若手ながら落ち着いたある新田選手。冷静な印象がある一方で、内に秘めた熱い闘志を言葉の端々から感じました。自分に厳しく、目標を高く掲げていることは、結果という形で着実に実を結んでいます。今後は、SGで勝つという結果はもちろん大切ですが、新鋭王座決定戦で展開したような、より魅力的なレース、素晴らしい内容のレースをお客さまに見せてほしいと思います。

今回対談したのは……



1952年、全国で最初に認可を受けた歴史あるボートレース場。近年改装されたばかりで、場内はクリーンで広々としている。ツッキードームは36面のマルチスクリーンを備えた多目的映像ホールで、様々なイベントに活用されている。



植木通彦氏

Michihiko Ueki

1968年4月26日生まれ。福岡県北九州市出身。O型。登録第3285号。「艇王」「不死鳥」として知られる。通算成績は4,500走1,562勝、勝率7.58。優勝74回。2007年7月に現役を引退。

このコーナーではボートレースを様々な分野で支えているプロフェッショナルにご登場いただき、その仕事の内容や役割についてご紹介します。

ボートレース浜名湖の審判員の皆さん。
一番右が疋田審判長。副審判長、中央審判員、信号審判員の順に並び

まばたきもせずに その一瞬に集中する

ボートレースの
審判員



着順やタイムを確定したり、危険な航法に対しては妨害失格を適用したりするなど、全国24のボートレース場で公正・安全・円滑なレースを実現するために、審判員は日々重責を担っています。今回は、ボートレース浜名湖で審判業務を行っている審判部の方々取材しました。



コーナー審判員はターンマークが最もよく見える場所に配置

ボートをじっと凝視して わずかな違反も見逃さない

「ボートレースの審判業務は、瞬時に正確な判断を下さなければならぬ仕事です」と語るのは、ボートレース浜名湖で審判長を務める、(財)日本モーターボート競走会浜名湖支部審判部の疋田さん。公正で安全なレースを円滑に運営するために、審判室から常に目を光らせています。

ボートレースにおける審判業務は複数名によるチーム体制で行われています。ここ浜名湖では7名の審判員が、業務を細かく分担しながら対応していますが、ミスを防ぐために、相手に正確に情報を伝えるコミュニケーションを徹底するとともに、何重ものチェックが行われています。

本番レースの時間が近づくと審判員は各自の持ち場につき、審判室内は徐々に緊張感が高まっていきます。そして、ピットア

ウトからスタート、ゴールまでのすべての状況に対し神経をとがらせません。その際大きな負担がかかるのが、目です。「待機行動中のチェックなど、わずかな違反も見逃さないためにまばたきもできないくらいです。視力はもちろんですが、ボート同士の間隔が離れていても全艇を監視できる視野の広さも重要です」と疋田審判長。

正確な判断を、しかも瞬時に下す

審判業務において特に難しいとされるのが、ケースバイケースの対処を要求される点です。様々な状況で常に的確な判断を下す必要があるのです。そのうえ違反などは、どちらとも判別しにくい微妙なケースも多く、判定をいっそう難しくします。しかしどんな状況であっても、「失格か否か」あるいは「選手責任か選手責任外か」などの判断を一瞬で行わなければなら

ません。

また、審判長が下した判定はやり直しや取り消しが絶対に許されません。このような厳しい条件があるのも、公営競技であるボートレースの公正さを保つため、お客さまに安心してレースを楽しんでいただくためには最も重要なことなのです。「審判長の判定は何かがあっても覆すことはできません。ですからルールなどの知識はもちろんのこと、大きなプレッシャーがかかっても平常心で思考できる強い精神力が求められます」と疋田審判長は真剣に話します。

秒刻みのスケジュールで進行するレースに、息をつく間もない審判業務ですが、各レースの間には昼食をとったり、審判員同士で談笑するなどリラックスする風景も見られます。実はこの瞬間が審判員にとっては非常に大切です。「展示航走が終わってからレースが始まるまでの発売時間(約15分)は、緊張を解きほぐせる貴重な時間です。1日に12回あるレースで集中力を維持するためには、こうしたオンとオフの切り替えがとても大切です」と疋田審判長は話します。

数多くの経験を積み重ね 学んでいく仕事

審判員になるためには、全寮制の「やまと学校」に入学し、そこで1年間の実務者養成訓練を行ったのち国家資格を取得しなければなりません。選手養成訓練同様、大変厳しく、ボートレースのプロフェッショナルとして必要な技能や知識、心構えを徹底的に習得します。しかし、「訓練で学ぶことは審判としての基礎中の基礎で、実際の業務は想像以上に難しいです。ボートレースの審判は数多くの経験の積み重ねがものをいう職業といえます」と疋田審判長。

非常に厳しい仕事ですが、それだけにやりがいも大きいという審判業務。その仕事について「違反を取ることが審判業務の目的ではありません。あくまでも公正で安全なレースの実施を陰で支えるのが審判員の役割なのです。ですから、すべてのボートレーサーがレース期間をケガなく完全無事故で終えてくれた時は、心から嬉しい気持ちになります」と疋田審判長は和やかな表情で語ってくれました。

【若手審判員から見た審判業務】



西山審判員
入社7年目

審判業務は間違いの許されない重要な仕事ですので、やはり実務についたばかりの頃は緊張で震えました。少しずつ経験を積み自分でも成長を感じる部分もありますが、瞬時の判断など、いまだにベテランの先輩方に及ばないところは多々あります。この仕事の一番の魅力は、一つひとつのレースの流れを作っていく点ですね。特に大きなレースの時などは、いつも以上に緊張感がありますし、その分やりがいを感じます。

BOAT RACE 浜名湖

1953年8月7日、ボートレース浜名湖は旧舞阪町弁天島に開設されました。1968年に浜名湖南岸の現在の地に移転、JR東海道新幹線からも間近に望める風光明媚なボートレース場として親しまれています。浜名湖は遠州灘と通じる汽水湖でウナギが有名。近年はリゾート地としてボートやヨットなどのマリンスポーツが盛んです。周辺には弁天島温泉、鎗山寺温泉などの観光スポットも豊富です。 ADDRESS●静岡県浜名郡新居町中之郷3727-7 ACCESS●JR東海道本線新居町駅(浜松駅から普通列車で約15分、豊橋駅から約19分)・競艇場口から徒歩7分。笠井・浜松駅、三方原、天竜方面、JR岡崎駅・名鉄東岡崎駅からバスの便もある(ボートレース蒲郡 非開催日のみ運行)。

審判の仕事を追う!

レース直前

発売締切5分前の表示。序々に審査員室の緊張が高まっていく



レース開始～レース中

レース開始直前から、常に視線は安全確保のため水面を追っている



審判長の横にはレース映像が流れるモニターが置かれ、時折遅延再生画像も確認しながら戦況を見つめる

レース終了～確定

レースが終わると、まず副審判長が着順をコールする。審判長が復唱すると、信号審判員が着順を表示(内示)。再度、審判長が確認し確定ボタンを押す。やり直しがきかないだけに慎重に確認を繰り返す。確定ボタンには誤表示を防止するカバーがかけられている



対岸の掲示板に、確定、レースタイム等が表示される

競走成績や展示タイムの入力も復唱をしながら行う

水面に浮遊物がないかを確認するもの審判員の仕事



【各審判員の役割】

- 審判長/着順や欠場・失格艇などの最終決定権を持つ
- 副審判長/他の審判員からの情報をまとめ、審判長に報告
- 中央審判員/スタート・ゴール判定、タイム計測や競走成績など記録面を担当
- 信号審判員/お客さまに確定・着順タイム、レーサーには失格・欠場・周回などの情報を掲示
- コーナー審判員/1,2マーク航走時の航法などを監視(各1名)。2マークでは待機行動も監視



●日本財団に関する情報はこちらから

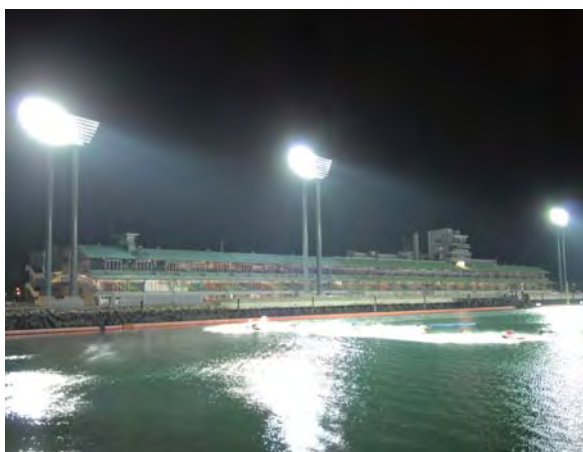
➔ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>

●日本財団会長 笹川陽平ブログ

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。年の三分の一を海外活動に充て、海外情勢や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。



➔ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>



BOAT RACE まるがめ

2009年4月、ボートレースまるがめはオールナイターのボートレース場に生まれ変わりました。瀬戸内海に面した競走水面は夜間照明により幻想的な雰囲気をかもし出し、夜にはカップルで、休日にはファミリーでの来場もあり、ファンの方をはじめ多くの方に「ブルーナイター」の名で親しまれています。また、場内ではさぬきうどんやたこ天などリーズナブルな価格のグルメも多数味わえます。

ADDRESS ● 〒763-0011 香川県丸亀市富士見町4-1-1

ACCESS ● JR丸亀駅より無料バスで約10分。そのほか、愛媛、徳島、広島、岡山からも無料バスを運行。丸亀本場行き無料高速艇を水島港フェリー桟橋より運行。

◆「ISO/IEC27001:2005」を認証取得

BOAT RACE 振興会は、2010年7月25日付で、全部門を対象とした情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の国際認証基準「ISO/IEC27001:2005」を認証取得いたしました。



IS 563662 / ISO 27001 : 2005



〒108-0073 東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館 TEL.03-5232-2511 FAX.03-5232-2519

BOAT RACE 振興会HP ➔ <http://www.kyotei-pr.jp/>

BOAT RACE オフィシャルweb ➔ <http://www.kyotei.or.jp/>